

丸亀市の男性育休 取得企業を取材



株式会社 一鶴

(所在地) 丸亀市土器町北
二丁目74番地
(業種) 飲食サービス業

株式会社一鶴では2人の男性育休取得者にお話を伺いました。

育休を取得して感じたこと

香川さん(令和元年に14日間取得)

初めてのことがばかりで色々大変でしたが、生まれて間もない子どもとの時間を妻と共有できて良かったと思います。

河上さん(令和2年に16日間取得)

日間取得

僕は6人目の子どもで初めて育休を取得しましたが、育児の大変さについて頭では分かっていたも、実際に経験してみると大変でした。

株式会社一鶴のマネージャーの中川さんは2人の育休申請を強い信念で後押しされました。

育休を取りやすい環境づくりに工夫されています

香川くんの取得の時期は、次世代育成支援「くるみん」の取得を弊社の目標にしていたこともあり、育休の申請があれば、快く受け入れる体制

でした。これまでに男性の店長代理も育休取得しており、男性でも育休取得が当たり前の環境になっています。

管理職としてのメッセージ

弊社では今後も「この会社ですっと働きたい」と思ってもらうために、助け合いながら男性・女性関係なく育休取得してもらおうなど、子どもが産ま



育休社員へのフォローを他の社員のレベルアップへと繋げていました。



左から中川マネージャー、香川さん、河上さん

れても働き続けられる環境を目指していきます。

株式会社 四国電水

(所在地) 丸亀市飯山町下法
軍寺464番地8
(業種) 建設業



河西さん(左)、佐藤社長(右)

河西さんは三人目のお子さんの離乳食が始まる時期に育休を取得。育休中は主に上の子二人の世話をされたということ。

育休を取得して感じたこと

自分は11日間育休を取得しましたが、その期間の中では育児の全貌が見えず正解が掴みきれなかった気がします。子どもを育てるとするのは「その時」しかない。育休を取らなければ見られなかった子どもの表情もあります。

育休を取得したことで子どもに対する愛情がより深くなったんじゃないかと思っています。

四国電水代表取締役の佐藤さん。河西さんに「育休を取ってみたい」と声を

かけられました。

職場の環境づくりに工夫されています

情報共有を大切にしていきますね。昼食を一緒に取るときは冗談を交えながら子育てのことや趣味の話をしています。また、どちらかと言うと家庭の時間より仕事の時間の方が多いで社員の体調変化に気づけるように心がけています。

男性育休について

私は50歳ですが、自分の育児時代では育児は女性の役割だという風潮がありました。でも当時自分も育休が取れていたら



と思います。だから今回河西さんに育休を勧めてみました。

社員数は5人。その中で二人の男性が育休を取得されました。

インタビューの詳細はこちら!

